

2025 年 7 月 3 日

学 校 長 様
小学校・中学校教員 様
高等学校教員 様
養護学校・特別支援学校教員 様

技術教育研究会北海道支部
代表 平 舘 善 明（帯広畜産大学）

技術教育研究会北海道支部 夏季研修会のご案内

猛暑の候，先生方におかれましては，益々ご健勝にて，日々の教育実践にご尽力のことと存じます．

さて，本会は 2020 年 1 月に創立 60 年を迎えた教育研究団体で，明日の授業に役立つ具体的な教材づくり・研究・開発などを行いながら，小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などで技術教育に携わる先生方が抱える課題や悩みを共有し，明日への活力や解決策を見出すことを目的として，標記の研修会を開催します．詳細は下記の通りです．

時節柄，ご多忙のことと存じますが，ご参加くださいますよう，ご案内申し上げます．

記

- 主 催 技術教育研究会北海道支部
- 期 日 2025 年 7 月 28 日（月）～ 29 日（火）
- 会 場 黒松内町立白井川中学校（黒松内町字白井川 17-9）…28 日会場
札幌市立常盤中学校（札幌市南区常盤 2 条 2 丁目 21-1）…29 日会場
- 研修内容
 - ・「授業での活動や体験の意味を育む実習の授業づくり」
 - ・「Arduino を用いたラジコン教材を取り入れた実習の体験」
 - ・技術教育の現状と教材づくりに関する実践交流 など
- 日 程 予定は天候状態等によって一部変更する場合があります．

第一日 7 月 28 日（月）

12:45 13:00

16:15 16:45

受付	開 会 式	実技・理論研修講座 (実習授業づくり) 実践交流含む	総 括	移 動
----	-------------	-------------------------------	--------	--------

第二日 7 月 29 日（火）

9:00

12:00 13:00

15:30 16:00

実技・理論研修講座 (Arduino 実習)	昼食 休憩	実技・理論研修講座 (Arduino 実習)	実践 交流	閉 会 式
---------------------------	----------	---------------------------	----------	-------------

6. 研修講座

I. 「授業での活動や体験の意味を育む実習の授業づくり」

講師 浦河町立荻伏中学校 森松 柊人 氏

(講師による技術科授業や実習教材等の提言を元に参加者でわかる授業をつくります)

II. 「Arduino を用いたラジコン教材を取り入れた実習の体験」

講師 旭川市立愛宕中学校 石川 聖剛氏

(参加者のみなさんでプログラミング教材や授業の進め方を率直に話し合います)

7. 実践交流 日頃の実践の中で解決できない問題や悩んでいることを共有し、
また、明日の授業へのヒントを持ち帰っていただくために
座談会形式で率直に話し合うことで、交流を深めます。

8. 申し込み 2025 年 7 月 15 日 (火曜日) までに下記の事務局へ以下の内容を左記
の QR コードあるいは、<https://forms.gle/zDhDdP4Uamr7LH1s5>
から入力の上、お申し込みフォームでお申し込みください。

①参加希望者お名前(ふりがな), ②ご所属または勤務先, ③参加者個人
の電子メールアドレス, ④研修会当日に着信可能な参加者個人の携
帯電話番号, ⑤参加希望者のご専門(技術科を免許外でご
担当の場合は必ずお申し出下さい), ⑥宿泊手配に関して
の助言希望に関する有無, ⑦当日の交通手段(都市間バ
ス・鉄道・自家用車), ⑧実践資料・教材紹介の資料提
供の有 無, ⑨技術教育研究会会員・未入会について全て
記載の上、ご送信ください。(教材準備のため期日厳守でお願いします)



9. 費 用 (1) 実習の材料費は、3,000 円程の予定です。
・当日お支払いいただきます。

10. そ の 他 (1) 可能ならば、年間指導計画(題材配当表)、授業で使
用したプリントや資料、授業や実習で使っているキット教材・教材・教具、
テスト問題など、実践交流の参考となる資料を、お持ちください。
(資料は 15 部をご用意下さい)
(2) 免許外で指導されている方につきましては、実際に指導している
キット教材やテスト問題等を持参されますと不安やお悩みについ
て、当日に直接相談にのることが可能です。
(3) 製作したものの他にも、参考教材・資料をお配りする予定です。
(4) 暑さに対応した軽装でご参加下さい。
(5) 1 日目と 2 日目の会場間の移動は車で 3 時間・公共交通機関では
4 時間 3 0 分ほどかかる距離です。なお、宿泊につきましては、
各自で宿泊をご手配くださいますようお願いいたします。

担当事務局

技術教育研究会北海道地区全国委員

井川 大介

電子メール

gikyouden@gmail.com

技術教育研究会北海道支部では、これまでも中学校で技術科を免許外で担当する先生や小学校・高等学校・特別支援学校の先生方を対象とする実技研修講座や理論研修講座を開催してきました。

今回は夏休み明けのスタートを前にして、「統合的な問題の解決につながるカリキュラムづくり」に悩んでいる実態が多く、多くの学校でみられることから、技術科の授業の進め方を共に考えることのできるテーマの講座を設定し、開催いたします。

(研修講座の内容紹介)

I. 「授業での活動や体験の意味を育む実習の授業づくり」

講師 浦河町立荻伏中学校 森松 柊人さん

私たちは技術・職業教育に携わる立場から、今日の子どもを見つめ、彼らの思いや願いに寄り添いながら、彼らの健やかな発達を促す手だてを探っているところだと思います。

中学校から学ぶ技術科は中学校1年生にとって小学校の授業では、技術の要素を取り入れた遊びや活動が子どもたちにとって技術の学びを体得していくことができます。

近年は、障害者差別禁止法の対応から教科の受け持ち時数の少ない教科を専門とする教員を普通学級に配置せず、特別支援学級に配置する傾向が急増しています。

そしてその状況下で、免許外指導の解消のため、普通学級の技術科をも担当している実態がみられるようになりました。

普通学級でも合理的配慮を必要とする子どもたちが一定数いることため、その授業づくりに悩む教師も少なくありません。本講座では、特別なニーズをもつ子どもたちへのはたらきかけや、普通学級での学習意欲が乱高下する子どもたちに技術科の学力を身につけさせていくかを授業づくりの視点からみなさんと一緒に考えます。

II. 「Arduino を用いたラジコン教材を取り入れた実習の体験」

講師 旭川市立愛宕中学校 石川 聖剛さん

本講座では、計測、制御について学びながらロボット学習との関連づけられる Arduino を用いたラジコン教材をご紹介します。

さらに参加者がそれぞれの学校で実際にその授業を行うことを前提に、授業のすすめ方を一緒に考える講座です。

初めて Arduino を触るという方にもどのようなものなのかという簡単な説明から始めたいと思いますので、お気軽に参加いただきたいと思います。

参加者が実際に勤務されている技術室の教育条件整備とすりあわせながら、参加者と話し合い、授業で使う場合の留意点や評価・評定問題についても考えていきたいと思います。

勤務校で実際に「双方向性のあるプログラミング」についての実習を手軽に行いたいという方にとっておすすめの講座です。

参加者の皆さんがすぐに役立つと自分で納得がいき、自分の「授業ネタ」になるまでとことん作業や論議を一緒にしましょう。